

はじめに

この松前記念館は、東海大学の建学 40 周年記念事業の一環として 1983 年の建学記念日に開館しました。

松前記念館は「博物館相当施設」という指定を受けています。

みなさんの学校のある自治体にも、博物館や美術館などがあると思います。通常博物館は自治体など公共機関が開設するものですが、それ以外が運営しているところを「相当施設」と言います。ですが、基本的な機能は、同じです。



大学としての博物館

博物館としての **4** つの機能・やくわり

収集・保全

大切な資料を次の世に残す

調査・研究

収集・保全をもとに行う

展示

調査・研究の成果を見ていただく

教育・普及
啓発

これらを役立てる活動



さらに東海大学が運営することによる **2** つの特徴

歴史ある東海大学の起源を展示

本学の創設者である、松前重義博士の業績や思想が起点となって、今日に至る学園史にまつわる資料を中心に展示・構成されています。

23 学部 62 学科・専攻があること

東海大学では、さまざまな分野の研究者がたくさんいます。その研究成果の中から、社会に還元すべきことがらを選びすぐって紹介をしています。

このほかにも東海大学生の学芸員実習の実務体験を行う場所としても活用されています

展示概要

博物館の展示には、常設展と企画展との二つがあります

常設展

常に見ていただけるようにいつも展示している、その博物館の柱となる「ストーリー」

「情報通信の技術史 - 東海大学の歴史」

松前重義博士の研究の出発点となった無装荷ケーブルから F M などの通信技術、その開発をきっかけにして育んだ科学技術思想。それが今日の大学の歴史にどうつながっているかを、「建学の源流」「先駆けであること」「総合大学への道」の三つのコーナーで説明し、最も新しい、ホットな学部学科の情報につなげています。

企画展

特定の期間だけ取り上げるテーマでアピールする、その博物館の「顔」

企画展は、ホットな学部学科の中で特に充実した、みなさんにご紹介すべき研究成果にスポットを当てています。現在開催されている展示は松前記念館公式 HP より最新情報をご確認ください。



松前記念館
公式 HP

こうしたさまざまな展示が、未来に向かって勉強していく皆さんの興味関心の芽をひらくなんらかのきっかけになればいいなと思っているのです。

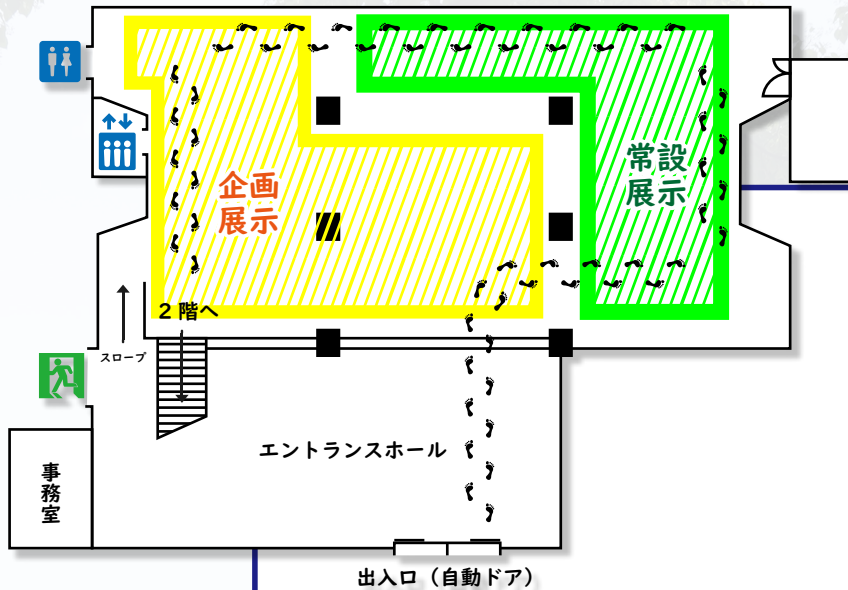
松前博士の人生からでも、大学の歴史でも、このメインの企画展の中からもいいと思います。

何を拾い出すかは皆さんの自由です。

では、限られた時間ではありますが、「面白いな!」と思ったものがあったら、なにか一つでも、それを皆さんの記憶として持ち帰っていただきたいと思います。

松前記念館 館内マップ

1 階 エントランス・展示室



1 階

企画
展示

企画展示

常設
展示

「情報通信の技術史」

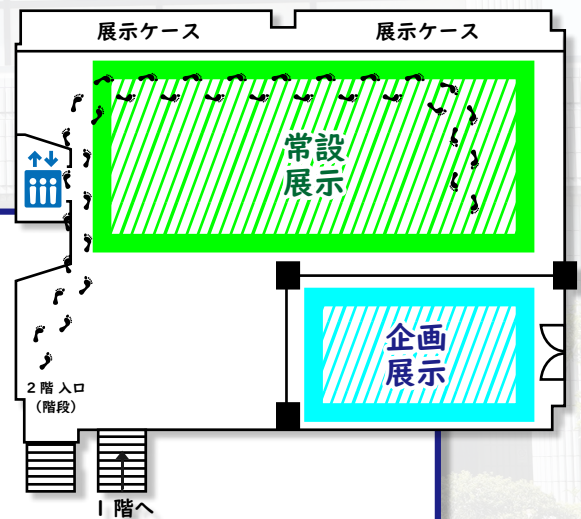
見どころ：
創立者の無装荷ケーブル通信方式の研究、情報通信の技術

常設展示のすすめ

松前記念館の常設展は、一階の右から壁伝いにぐるっと回って、奥から二階に上がっていただく動線で展示しています。

// マップの足跡が目印です //

2 階 展示室



2 階

常設
展示

「東海大学の歴史」

見どころ：
建学の源流、先駆けであること、総合大学への道、の3セクションで構成

企画
展示

ミニ企画展示



松前記念館について
詳しくは公式 HP へ



松前記念館
公式 HP